

平成29年度第8回SPODネットワークコア運営協議会 議事次第

日時：平成30年2月15日（木） 13：15～14：15

場所：各コア校（遠隔会議システム）

議題：

1. 平成30年度共同事業契約における役割分担等について

- ・平成30年度共同事業契約における役割分担等について（案） 【資料1】…P1
- ・共同事業契約書 【参考資料1-1】…P5
- ・平成30年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業予算（案） 【参考資料1-2】…P13
- ・四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約（一部改正案） 【参考資料1-3】…P19
- ・四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約別表第1の変更について（案） 【参考資料1-4】…P23
- ・四国地区大学教職員能力開発ネットワークの加盟についての申請書類 【参考資料1-5】…P25

2. 平成29年度SPOD事業経費について

- ・平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業収支報告書（案） 【資料2-1】…P27
- ・平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業経費支出内訳（案） 【資料2-2】…P29

3. 平成29年度SPOD内講師派遣事業について

- ・平成29年度SPOD内講師派遣事業年度末アンケート結果 【資料3】…P31
- ・平成29年度SPOD内講師派遣事業年度末アンケート結果（回答校名入） 【参考資料2-1】…P35
- ・SPOD内講師派遣実施状況一覧（平成25年度～平成29年度） 【参考資料2-2】…P37

4. 平成30年度SPOD内講師派遣事業について

- ・平成30年度SPOD内講師派遣プログラム一覧（担当大学別）（案） 【資料4-1】…P39
- ・平成30年度SPOD内講師派遣プログラム一覧（開催県別）（案） 【資料4-2】…P41
- ・平成30年度SPOD内講師派遣事業実施に係る手続き等について（案） 【資料4-3】…P43
- ・平成30年度SPOD内講師派遣プログラム希望理由等一覧 【参考資料3-1】…P45
- ・平成30年度SPOD内講師派遣プログラム一覧（希望プログラム別）（案） 【参考資料3-2】…P49
- ・平成30年度SPOD内講師派遣プログラム概要 【参考資料3-3】…P51

5. その他

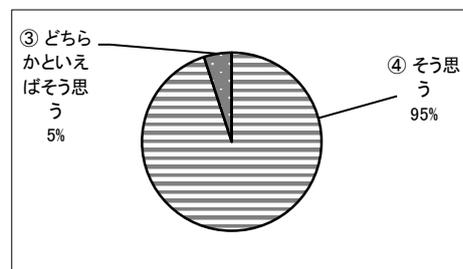
平成29年度SPOD内講師派遣事業年度末アンケート結果

SPOD内講師派遣事業実施校：22校

アンケート回答数：20校（H30.2.2現在）※2校実施予定

1. SPOD内講師派遣事業を来年も継続したらいいと思いますか。

	回答数	割合
④ そう思う	19	95.0
③ どちらかといえばそう思う	1	5.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	20	100.0



2. SPOD内講師派遣事業により、学内でどのような成果や変化がありましたか。

1	学内にはこれまでにアクティブラーニング（AL）に関する研修会に参加した教員が数名おり、その教員をコアにしてAL型授業を増やしていこうと計画しています。まずは、それぞれのノウハウを共有し、その後学内へ展開していくことを検討しています。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・講師から直接話を聞くことで、学内のFD活動への意識が高まるとともに、理解も深まってきた。 ・今回の内容では、学生への対応について、具体的な事例を通して学ぶことができたとともに、他大学の実情も知ることができ、参考になったとの意見が多かった。自大学だけでなく、他大学の実態まで視野を広げて考えることができたことは、大きな成果であると感じる。 ・授業や業務をより効果的に行うためには、常に、学生への対応をどのようにすればよいかについて絶えず研修していくことが大切であるという意識が強まってきた。
3	<u>試験紙法を授業に取り入れた教員がいる。</u> <u>参加者同士で、FDに関する話をする機会が増えた。</u>
4	外部講師の人柄、講義の進め方の手際の良さなどにより、充実した貴重な時間を過ごせたとの意見が多く寄せられました。外部講師ということで、良い意味で緊張感があり、そのおかげで通常より、より真剣に取り組めたように思えます。 今回のテーマである「大学職員が必要な能力と専門性について」の講義とグループディスカッションを経て、大学職員としての心構えを再認識するとともに、今後どうあるべきかを自分なりに理解し、研修受講後は、それぞれが、業務に前向きに取り組んでいます。
5	本学では毎年SPODをはじめ、外部機関の研修や勉強会に職員を派遣しています。派遣する職員は計画的に選出していますが、研究参加への意欲や、部署や時期による参加のしやすさに差があるのが現状です。 講師派遣事業は無料で講師を派遣していただき、学内で研修を実施していただける貴重な機会ですので、 <u>教職員の能力向上に加え、普段研修に参加する機会が少ない職員を指名により参加させることによって、研修に参加しやすい環境を作ることを目的の一つにしています。</u> 具体的な目に見える成果ということではありませんが、 <u>継続してこのような機会を設けることにより、研修参加が習慣化するものと考えます。</u>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・各教員が本事業を受講することによって各々の授業を振り返り、授業の構成や内容を見直すようになった。 ・学生の実習振り返りにおいて、研修会で教わったメソッドを活用することによって、学生の自己肯定感の向上に繋げることができた。
7	業務への考えや課題などについて教員、職員の区別なく話し合う事のできる良い機会となった。
8	高専の教育現場で起きている事例などについて、どのように対応すれば適切に学生をサポートできるのかを知ることができ、有意義な講演会であった。また、学生や保護者等に対する教員としての心構えについて理解を深めることができた。

9	多様化している学生に対する支援体制の重要性、制度化の必要性についての認識は高まったが、具体的な動きはなかった。しかし、さまざまな実例とその対処方法は大変参考になり、教員、職員ともに学生対応に活かされている。
10	講師派遣事業において様々なテーマを扱っていただいております、組織または職員のニーズに応じた講座を選択し提供できている。今回は部局、階層を横断して参加できるテーマを実施したことで、組織全体の連携に繋がる意識改革の一助となった。
11	今年度の講師派遣事業によって、障がいのある学生の理解が深まり、その対応に関する共通理解が得られたと感じている。 事業を継続していることによって、「FDSDは取り組まなければならないもの」との意識が高まった。
12	授業評価についてFD委員会や学内で見直しの雰囲気があり、今後の授業アンケートについて関心が高まっていた時に、まさにピッタリの講演内容でありました。FD委員会と大学で検討を進めていこうとの機運が高まったと感じています。今後の検討に大いに役立つ内容でした。
13	職員から希望の多かった多様化する学生への指導に関するテーマであり、 全職員が参加したことで、共通の知識と理解が深まった。「教職協働」のきっかけにもなった。
14	ケースメソッドで具体的に考えることができたため、重要性を再認識したり、関心を持った教職員が増えたと思われます。
15	プログラムの内容を授業へ反映する取組もみられています。また、FD全般への契機として、より良い授業を心がける機運も高まりつつあります。これまでは実施したことを記録することが十分ではありませんでした。そこで、 従来のSPOD内講師派遣事業も踏まえ、平成29年度より、FD改革を本格化し、学内での取組を積極的に公表するFD・SD研究発表会の開催やFD・SD活動報告書の刊行、また授業改善についてのPDCAサイクルの見直しなどが行われました。
16	<p>教学に特化したIR活動の本格化にあわせて教学IRの必要性・方法を理解する場として開催し、当日は学内外から、教職員27名が受講し、課題について職種を越えて議論ができた。議論の中で、教学データの共有ということに関して、教員と職員の情報交換ができ、また、個々のデータをどのように集約するか、利用上の問題点など、本学が取り組むべき課題を洗い出す端緒となった。</p> <p>受講者からは、各種データを見る際の視点を改めて考える良い機会になった、普段お話しする機会のない先生方にいろいろな話を聞くことができた、IRの定義について学ぶ良い契機になったとの感想が多く寄せられた。</p>
17	今年度、本校は学生の主体的な学びが増えるようにアクティブ・ラーニング型授業の推進に取り組んでいる。そこでSPOD内講師派遣事業では「アクティブラーニング実践（試験紙法）」をテーマに選んで派遣をお願いした。学生の主体的な学びに繋がる手法のひとつとしてTBLについて学ぶことができた。参加者は自分の授業へ持ち帰って参考にしていると考えています。
18	他大学の授業事例カードや参加者間の実践の共有を通して、アクティブラーニングのさまざまな技法を具体的に理解することができ、これからアクティブラーニングを導入しようという教員の意欲を高めることができた。
19	教員らの学生対応についての考え方に変化が生じた。
20	SDの義務化に伴い、教職員の意識を高める目的で実施した。日頃の業務の振り返り、大学運営における教職員個々の自己課題を意識できる機会となった。大学運営がスムーズに進むよう教職員一人ひとりが力を発揮できるように頑張っている。また、新任者研修の定着をはかった。新任者以外でも内容を確認し、FD研修を希望する教員も出てきて、教育力の向上に繋がった。

3. SPOD内講師派遣事業への要望があれば、具体的にお書き下さい。

1	とても有意義な研修会でしたので、今後も継続されることを希望します。
2	・ <u>新任者用、SD研修用など、目的別の講座がもっとあればよい。</u> ・ <u>できる限り他大学の事例などを踏まえた講座内容にさせていただければ、より参考になる。</u> ・ <u>グループワークなど、ワークショップを取り入れた講座内容を増やしてほしい。</u>
3	<u>調整が難しいと思いますが、派遣希望申し出のタイミングが年度始めと年度途中（9月くらい）の二回あると、学内の幅広い要望に応えやすく思います。</u>
4	今後も引き続き、SPOD講師派遣事業を継続して実施していただければと思います。
5	大学の教職員による教職員向けの研修という特色を生かして、例えば業務改善の研修でも大学での事例や課題に関連づけて進めていただけると、より身近な問題としてとらえることができるのではないかと思います。
6	<u>毎年講師派遣事業を活用させていただいております。本学はFD/SDのスペシャリストと呼べる人材が少ないため、本事業により専門家によるレクチャーを受ける貴重な場となっているため、是非、今後も派遣事業を継続していただきたいと考えております。</u>
7	特になし。事業を継続して欲しい。
8	<u>講師派遣事業を1つだけ、となるとどうしても人数の多い教員の意見が反映されてFDのものを選んでしまう。FDとSD各1講義ずつ派遣いただけるとありがたい。</u>
9	講演の前に講師の先生と短時間ではありましたが内容について話す機会がありました。この時私どもが抱えている問題点について講師の先生に事前にお話をしました。その点を踏まえて講演していただきまして非常に役立ちました。事前にもう少し講師の先生とメール等で意志疎通を図ることができていれば良かったと思っています。
10	来年度は、FD研修として授業改善に関するテーマに応募したい。
11	これからも講師派遣事業を継続していただきたいです。
12	この事業によって、様々な点に気づかせていただいています。ぜひこれからも継続をお願いします。
13	<u>大学教育の質保証という観点から、認証評価において求められるプログラム・レビューの考え方や具体的な手法などについて、先進校の取組なども含めた研修を望みます。</u>
14	<u>時流に乗った新しいトピックを毎年開設して欲しい。</u>
15	今後も本事業を活用し、FD・SDへの取り組みを全学的に活性化させていきたい。
16	大学院教育の向上を目指したFD研修の充実

4. SPOD全体への要望があれば、具体的にお書き下さい。

1	・ <u>遠隔配信する講座等の内容が過去のものと同じ場合は、「何年度のものと同じ内容です」という表記があると、受講する人が重複受講しなくてよいので助かる。</u>
2	FD、SDとも、香川県で開催の講座を増やしていただければ、参加しやすくなりますので、ご検討いただければと思います。
3	大学単位ではなかなか実施できない研修を企画していただき、事務局の皆様や講師の先生方には大変感謝しております。 <u>本学では民間の研修等に職員を派遣する機会もありますが、SPODには他機関の研修と差別化を図っていただくと、より教職員の参加意識が高まるのではないかと思います。</u>

4	総会の際、SPODにおけるFD事業は縮小するというお話でしたが、上記に述べたように、 <u>本学においてSPODのFD事業を活用しての研修会で得られる知見・スキルは大きいため、来年度以降もFD事業を継続していただきたい</u> と思います。
5	今後も活動を継続されることを希望します。
6	ご担当の先生方や事務局は大変かと思いますが、これからも勉強させていただきたいと思 います。よろしくお願ひします。
7	<u>録画した研修をオンデマンドで視聴できるプログラムを増やして欲しい。</u> <u>利便性が上がり、参加者（聴衆）が増える</u> と思います。

平成30年度SPOD内講師派遣プログラム一覧(担当大学別)(案)

担当大学名	担当講師名	No.	ジャンル	プログラム名	プログラム希望大学(派遣先所在県別)			
					愛媛県	徳島県	高知県	香川県
愛媛大学	仲道 雅輝	6	授業改善・教授法	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	愛媛県立医療技術大学 環太平洋大学短期大学部			
	清水 栄子	24	業務改善	後輩の成長を促すコーチング		鳴門教育大学		
	村田 晋也	25	業務改善	リーダーシップ入門		阿南工業高等専門学校		
	清水 栄子	27	業務改善	教学IR入門				香川大学
	吉田 一恵	28	業務改善	クレーム対応実践	松山東雲女子大学・ 松山東雲短期大学			香川短期大学
	久保 秀二	29	業務改善	タイムマネジメント入門		徳島大学		
	吉田 一恵	35	人材育成・人事制度	高等教育機関の職員に必要な能力と専門性			高知大学	
	野本 ひさ	39	学生支援	現代学生の理解と関わり方	聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部	四国大学・四国大学短期大学部		
	野本 ひさ	40	学生支援	障がいをもつ学生の理解と支援	今治明德短期大学			
	吉田 一恵	41	危機管理	事例から考えるハラスメント	弓削商船高等専門学校			高松大学・高松短期大学
吉田 一恵	42	危機管理	教職員のための危機管理		徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	高知県立大学法人(高知県立大学)		
徳島大学	吉田 博	10	授業改善・教授法	アクティブ・ラーニング実践(成功のためのアイスプレイング)	新居浜工業高等専門学校			
阿南工業高等専門学校	坪井 泰士	16	高専向け	高専教育スキルの共有と伝承ー私たちは、いかに学生を育むのかー			香川県立保健医療大学	
高知大学	立川 明	5	授業改善・教授法	発達障がいの学生にもわかりやすい授業づくり			高知学園短期大学	
	塩崎 俊彦	6	授業改善・教授法	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？		徳島工業短期大学		
	立川 明	7	授業改善・教授法	受講生が楽しく集中して参加する授業の雰囲気作り	松山大学・松山短期大学			
香川大学	葛木 浩一, 佐藤 慶太, 西本 佳代	36	学生支援	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ			高知工業高等専門学校	

※愛媛大学:未定

平成30年度SPOD加盟校内講師派遣プログラム一覧(開催県別)(案)

県名	大学等名	No.	ジャンル	プログラム名	講師担当校	
徳島	徳島大学	29	業務改善	タイムマネジメント入門	愛媛大学	
	鳴門教育大学	24	業務改善	後輩の成長を促すコーチング	愛媛大学	
	四国大学・四国大学短期大学部	39	学生支援	現代学生の理解と関わり方	愛媛大学	
	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	42	危機管理	教職員のための危機管理	愛媛大学	
	徳島工業短期大学	6	授業改善・教授法	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	高知大学	
	阿南工業高等専門学校	25	業務改善	リーダーシップ入門	愛媛大学	
香川	香川大学	27	業務改善	教学IR入門	愛媛大学	
	香川県立保健医療大学	16	高専向け	高専教育スキルの共有と伝承ー私たちは、いかに学生を育むのかー	阿南工業高等専門学校	
	高松大学・高松短期大学	41	危機管理	事例から考えるハラスメント	愛媛大学	
	香川短期大学	28	業務改善	クレーム対応実践	愛媛大学	
	香川高等専門学校	(希望なし)				
愛媛	愛媛大学	(未定)				
	愛媛県立医療技術大学	6	授業改善・教授法	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	愛媛大学	
	聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部	39	学生支援	現代学生の理解と関わり方	愛媛大学	
	松山大学・松山短期大学	7	授業改善・教授法	受講生が楽しく集中して参加する授業の雰囲気作り	高知大学	
	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学	28	業務改善	クレーム対応実践	愛媛大学	
	今治明德短期大学	40	学生支援	障がいをもつ学生の理解と支援	愛媛大学	
	環太平洋大学短期大学部	6	授業改善・教授法	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	愛媛大学	
	新居浜工業高等専門学校	10	授業改善・教授法	アクティブ・ラーニング実践(成功のためのアイスブレイキング)	徳島大学	
	弓削商船高等専門学校	41	危機管理	事例から考えるハラスメント	愛媛大学	
高知	高知大学	35	人材育成・人事制度	高等教育機関の職員に必要な能力と専門性	愛媛大学	
	高知県立大学・高知短期大学・高知工科大学	42	危機管理	教職員のための危機管理	愛媛大学	
	高知学園短期大学	5	授業改善・教授法	発達障がいの学生にもわかりやすい授業づくり	高知大学	
	高知工業高等専門学校	36	学生支援	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	香川大学	

平成30年度SPOD内講師派遣事業実施に係る手続き等について (案)

SPOD事務局 (愛媛大学教育学生支援部教育企画課)

平成30年実施予定のSPOD内講師派遣プログラムについては、以下のとおり取り扱いますので、ご確認願います。

I SPOD内講師派遣プログラムについて

(1) 講師の旅費・謝金について

① SPOD内講師派遣にかかる講師の旅費・謝金について

- ・SPOD内講師派遣プログラムは、SPOD加盟校を対象に、毎年1回無料で研修講師の派遣を行う制度です。(ただし、1法人に複数大学・短期大学・短期大学部が併設されている場合(高等専門学校を除く)は1法人あたり1回の派遣とします。)
- ・貴機関から講師へ旅費・謝金をお支払いいただく必要はありません。
- ・SPOD事務局より、講師所属事務担当者に旅程等確認の後SPOD経費で旅費を支給します。
- ・謝金は、支給いたしません。(「共同事業契約書」の締結に伴い、本講師派遣事業が各加盟校の業務となることによる)

② 2回目以降の講師派遣等をご希望の場合

- ・2回目以降の講師派遣等をご希望の場合は、SPOD内講師派遣プログラム(SPOD事業)とはなりません。直接講師所属機関(事務担当等)に派遣可否を確認してください。
- ・2回目以降の講師派遣等にかかる講師への旅費・謝金は講師所属機関の兼業規程等必要手続きをご確認の上、貴機関よりお支払いください。

(2) SPOD加盟校外教職員のプログラム参加について

- ・SPOD内講師派遣事業その他SPODプログラムはSPOD加盟校(四国地区大学・短大・高専 ※四国学院大学を除く)教職員は無料でご参加いただけます。
- ・SPOD非加盟校の教職員が参加の場合は原則研修料が必要となりますので、SPOD加盟校外教職員の参加希望がある場合は、事前にSPOD事務局までご相談ください。

II SPOD内講師派遣プログラム実施に伴う各加盟校の手続きについて

(1) SPOD内講師派遣プログラム実施要項等の送付について【プログラム開始1ヶ月前まで】

- ・講師の旅費手続き等の際に必要なとなりますので、担当講師に確認いただいた上で、実施要項等をプログラム開始1ヶ月前までにSPOD事務局までメールでご送付願います。

(2) 研修事後アンケート(様式1)について【プログラム実施当日～終了後】

- ・今後のプログラム改善の参考にいたしますので、当日は、様式1の講師派遣プログラムアンケート(受講者対象)の実施をお願いいたします。
- ・受講者数分印刷して配付いただき、回収後は速やかに以下の宛先にご送付願います。
- ・貴校独自のアンケートや講師が独自にアンケートを実施する場合には、SPOD事務局までお知らせください。(送付先) 〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番地 愛媛大学 教育企画課教育企画チーム 宛

(3) 研修の完了報告書(様式2)について【プログラム終了後】

- ・講師派遣事業の実績として活動報告書等に掲載させていただく予定ですので、プログラム終了後、速やかに、様式2の完了報告書をSPOD事務局までメールでご送付願います。記入の際は記入例をご参照ください。

(4) 年度末の実施責任者対象のアンケート(様式3)について【平成31年1月15日(火)まで】

- ・研修後の学内での変化や効果を調査するため、年度末に研修実施責任者対象のアンケートを実施しております。様式3の講師派遣事業についてのアンケート(研修実施責任者対象)にご回答の上、平成31年1月15日(火)までにSPOD事務局までメールでご送付願います。
- ・実施時期が締切日以降の場合は、プログラム終了次第提出してください。

(添付書類)

- 01 様式1 講師派遣プログラムアンケート(受講者対象)
- 02 様式2 完了報告書
- 03 記入例 完了報告書
- 04 様式3 講師派遣事業についてのアンケート(研修実施責任者対象)

(問い合わせ・回答先)

SPOD事務局(愛媛大学教育学生支援部教育企画課)

TEL 089-927-9154

E-mail spod@stu.ehime-u.ac.jp

(様式等は添付省略)